

歴史を訪ねて...

笠岡市の文化財

西大島の津雲貝塚は、縄文時代の人骨が多数出土したこと
知られる著名な貝塚です。貝塚の前面に広がる西大島新田は、
当時は遠浅の海であったと考えられます。海の幸・山の幸に恵
まれた津雲の地に、人々が集落を営んでいたのでしょう。

津雲貝塚は明治三年（一八七〇）、池の堤防工事のために土取
りをした際、はじめて注目を集めました。そして大正四年（一
九一五）から大正九年までの間に、多くの研究者によって十七回
以上の発掘が行われ、合計一七〇体近い縄文人骨が採集されま
した。この人骨類を中心とした研究成果は、その後の考古学・
人類学研究に大きな影響を与えました。

そもそも貝塚は、貝殻をはじめとする生きごみや、土器・石
器・骨角器などを廃棄した場所のことですが、一方で人間を埋
葬する墓地の性格も持っていました。津雲貝塚の人骨は一定の
規則性をもって埋葬されており、手足を折り曲げた屈葬のもの
が大部分でした。また、若年以上のほとんどに抜歯の風習が確
認されました。中には装身具を身につけていた人骨もあり、シ
カの角で作った腕飾・耳飾・腰飾や、貝のブレスレット（貝
輪）、石製の頸飾などが見つかっています。出土する縄文土器
から、貝塚は、およそ四〇〇〇〜二五〇〇年前を中心にごま
れたと考えられています。



(写真解説) 津雲貝塚出土 土器、石器、貝殻

つくもかいつか
津雲貝塚
(国指定史跡)

展覧会と行事のご案内

特別展

画家の絵手紙
— 国画創作協会の画家
たちを中心として
2月9日(土)
～3月16日(日)

講演会

「創作版画家の絵手紙」
井上芳子氏
(和歌山県立近代美術館
学芸員)
2月24日(日) 13時30分～
会場：笠岡グランドホテル
聴講無料

〒714-0087
笠岡市六番町1-17
☎63-3967
ホームページ
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/0013/0001.html>

「自然から与えられたとき、それは神の恵みのようなものである。自分だけの見た自然が、奥深く心の中に沁み込んで温存されるのである。」
(竹喬のことば)

自然から与えられる直観、それはまるで神の恵みだ。自然が一方的に与えるだけでは駄目で、それを受け取ることで、自然の恵みを受け取った竹喬は、すぐに描いたりしないで、心の中心で十分に温め育ててから作品にする。



竹喬美術館の光彩 62

広沢の池 I

小野竹喬 作
昭和31(1956)年
29.9×44.3cm

今月の表紙

「元氣いー?!」「久しぶりー!」「オォー!」「誰か分かるう?」「ええー?!」
駐車場で、受付で、会場内で、
新成人の声が飛び交います。
1月14日、市民会館で開催
された「第60回成人式」には
532人の新成人が参加しま
した。式典では、来賓から期
待を込めた祝辞が贈られ、新
成人の代表は感謝の言葉と共
に成人としての自覚を誓いま
した。式典終了後も、再開を
喜ぶ声と記念撮影する光景が
会場を沸かせていました。
あらためて、皆さん、ご成
人おめでとうございます。

係から

先日、子どもと「凧づくり」
に挑戦しました。思えば自分が
子どもの頃、凧を揚げた記憶は
ありませんが、自分で作った記憶
はないような...。
案の定、骨の貼付けや糸でパ
ランスを取るのに四苦八苦。な
んとか凧の形にはなりましたが、
当日はあいにくの雨模様で凧揚
げはおあずけ。今度の休みは親
子で「凧揚げ」に挑戦したいと
思います。(土)



土屋武之 笠原良一

発行日/平成20年2月1日
発行/笠岡市役所
編集/企画政策課
〒714-8601 笠岡市中央町1-1
☎69-2110

印刷/株国輝堂 ☎67-5111

笠岡市ホームページ: <http://www.city.kasaoka.okayama.jp>
メールアドレス: kouhou@city.kasaoka.okayama.jp



※この広報は再生紙を使用し地球環境にやさしい
植物性大豆油インキで印刷しています。